

**たのしい夏休みが始まります！**

子ども達に「たのしい科学実験・もの作り」

教室を提供していきましょう！

<そこまでやるか>を、どこまでやるか

夏休みは・・・



■自由を吸いにとって大きくなる時。推進力は、勿論笑顔です！

夏休み

・・・江間章子・・・

セミが鳴いています  
待っていた夏休みですね

スケッチブックいっぱい

こい青をぬって

いくつもならぶ

なんとすてきなヨットでしょう

子ども達よ

描いたその絵から

自由を吸いにとって

大きくおなりなさい

夏の雲が浮かんでいます

うれしい夏休みですね



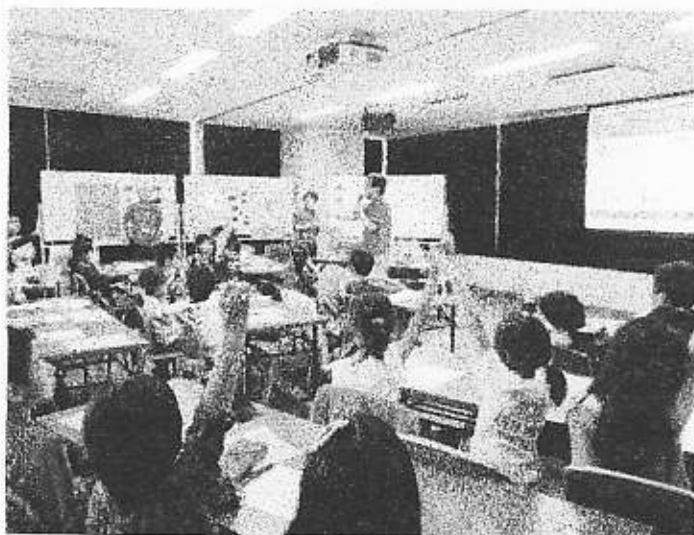
<水の表面>の実験はたのしい！<法円坂子どもプラザ>でも、<吹田子ども科学実験教室>でも、そして<SA・子ども教室>でも。好奇心を育てるのはたのしい科学体験だ！

## ■人生いつまでたっても「やってみなはれ」だ。(\*^\_^\*)

いま思うのは、世の中で一つだけはっきりしている真実があることだ。それは、「未来は誰にも分からない」ということ。今日はピンピンしていた人が明日は死ぬかもしれない。明日死ぬかと思っていた人が、あと20年生きているかもしれない。それは、今日の段階では分からない。ただ、いつかは必ず死ぬということだけは確かである。だから、人生とはこういうものだと妙な結論をつけないで、起承転々で流れていけばいいのではないか。

起承転々で流れていくという以上、新しく何かを始めることが大切だ。五木寛之も言っているけど、人生に目的はないということだ。目的はつくっていくものである。あるいは、五木流に言えば、目的などなくとも、立派に楽しく生きていける、ということである。経験的に言えば、一つだけだったら飽きるから、十年単位で新しいことを見つけた方がいい。人によっては、五年単位でもいい。60歳から自分のペースで新しい何かを一つずつ加えていく。それが人生だと思う。

やってみたいことはまだまだあるはずだから、サントリーの社是ではないけれど、「やってみなはれ」でいったらいい。人生いつまでたっても「やってみなはれ」だ。チャレンジ精神を失ったらつまらない。もっと正確に言えば、枯れたところと、一向に枯れないところの両方がある。それが人間らしい。人間らしくやりたいな。(江坂彰・「定年の迎え方」より)



7月24日(日) 第6回法円坂

### 子どもフェスティバル

★近づいてきました。参加児童は、230名。保護者参観150名。スタッフ100名の大きなイベントです。このイベントも、今では中央区の人気の子どもの行事として成長し、以前のように募集活動に苦勞することもなくなりました。★24日は、安全面に充分注意して、計画通りタッピー楽しみたいと思います。

### フェスティバル前日準備会 7月23日(土)

3階多目的室2号・10時～ 多数の参加をお願いします!

- |                               |                  |                |      |
|-------------------------------|------------------|----------------|------|
| ①午前の部・科学実験教室・7クラス<br>の材料準備と確認 | ②午後<もの作り><br>の準備 | ③午後の部スライム作りの準備 | ④その他 |
|-------------------------------|------------------|----------------|------|